

# 御会式新聞50号記念特別版

# 4年ぶりに満開の万灯花

—豊島区指定無形民俗文化財 雑司ヶ谷鬼子母神 御会式万灯練供養—



発行所  
おえしき連合会  
編集責任者 川井 誠  
TEL 03-3987-7705  
(印刷所 鶴岡三光堂)

**SUGAMO SHINKIN**

喜ばれることに喜びを  
**巣鴨信用金庫**

東池袋支店  
豊島区東池袋3-22-17  
東池袋セントラルプレイス2F  
☎03-3987-1201  
<https://www.sugamo.co.jp>



第41回御会式写真コンテスト最優秀賞 小池基夫氏

### お穴の鬼子母神 (護国寺コース)

十月十七日(火)

午後7時 集合  
午後7時30分 出発

### 西武池袋本店前から (明治通りコース)

十月十八日(水)

午後6時30分 集合  
午後7時 出発

六月から続いた猛暑の夏が過ぎ、いよいよ秋の気配が深まった雑司ヶ谷に四年ぶりとなる御会式万灯練供養が戻って参りました。

コロナウィルスは未だ人々の生活に入りこんでいます。「免疫」という味方を手にし、私たちはいつもの大切な「日常」を繰り返していきます。

本年は御会式新聞が昭和四十五年に発行されてから五十号を数える記念の年となりました。新聞発行に尽力された先輩諸氏に感謝の意を表します。

カラーでお届けする記念号、お楽しみください。

**万灯練供養に参加される方々へお願い**

万灯練供養は、御会式連合会・花園中・四区七番組・目白警察署・池袋警察署・大塚

警察署・豊島消防署・小石川消防署・豊島消防団・都電荒川営業所・都バス早稲田営業所・西武バス練馬営業所等多くの方々のご協力の上に成り立っております。くれぐれも事故のないよう以下の注意をお守り下さい。

- 行列内での飲酒・喫煙の禁止。
- 用足しはトイレで。(配置場所は、一面地図参照)
- 裸での参加は禁止。
- 警備の方(警察官、消防団員、赤提灯やタスキを掛けた各講の世話人、赤色灯を持つている警備の方)の指示に従って下さい。

十七日  
不忍通り、目白通りは左側車道を逆行しますので、現場の警備の



池袋の集合待機場所にはバス停がありますので、バスの乗降客の邪魔にならないように間を空けて待機して下さい。

ビックリガード交差点での横断は、警備の方の指示に従って速やかに横断して下さい。千登世橋交差点では一講社ずつ横断しますので、警備の方の指示に従って下さい。

万灯練供養を盛大に楽しく行うために皆様のご協力をお願いします。

万灯練供養は、日蓮聖人の入滅を偲ぶ宗教行事です。御拝口ではスモースにお参りができると、警備の指示に従い、お参りの際は、鉢巻や帽子、被り物を取り、お題目の「南無妙法蓮華経」を唱えて下さい。

最新家電からおもちゃ・自転車・お酒まで何でも揃う

**ビックカメラ**

朝10時～夜10時 年中無休  
※アウトレット・東京写真館・池袋西口店・池袋SELECTは夜9時まで

池袋地区に6店舗

ビックカメラリフォーム  
相談・無料見積 承ります

0120-614-222 朝10時～夜7時 年中無休

甘いヨロコビも、味なオドロキも。

諸国銘菓 諸国名産

**卵花墙** / **味小路**

うのはながき / あじこうじ

西武食品館地下1階(中央B7)=スイーツ&ギフト

SEIBU 西武 池袋本店  
TEL 03-3981-0111 FAX 03-3981-0112  
[www.seibu.jp](http://www.seibu.jp)



# 「鬼子母神のお会式連合会」

## 発足について

鬼子母神お会式連合会 初代会長

おのうえ  
尾上 多喜雄



「お会式新聞」が五十号を迎えられること本当に色々ご苦労様でした。心より御礼申し上げます。

さて、「鬼子母神のお会式」が江戸時代からの長い歴史と伝統を守り、数多くの戦争や病氣、町ぐるみの焼失等の苦難の中を敢然として生き抜いてこられたことは、ひとり法明寺さんとその関係者様の努力だけでなく「町

ぐるみ地域全体のお会式【お祭り】」として愛され、親しまれた証拠でもあります。私達もいつまでも責任をもって守っていきましよう。

幸にして最近の各地、各種の催しに対する動員数は夥しいものがあるようで、事故のないよう連合会の人々の自覚のある活動も要望されますし、見物人にもよく注意しましょう。

昔から鬼子母神界隈に住む人達は、どこからともなく聞こえてくる太鼓の音に「秋」を感じ、襟元に冷たい風を感じたら「お会式が近い」と感じてきたと言われてきました。私は昭和の二桁生まれですが、子供のころを思い出すと、明るい賑やかな夜、鬼子母神の通り一杯を、次から次へと繋がってくる万



昭和46年当時の前ご住職



昭和46年頃 法明寺世話人新倉留吉氏 手前筆者

灯と道幅いっぱいの人垣を縫って、母親の腕につかまりながら、厚手のドテラと襟巻を着て連れて行ってもらいました。しかし当時はすごく寒かったし、太鼓の音と周りの人の声があやたらと大きかったのを思い出します。そして、帰りには毎回必ず「いわつきや」の甘い豆菓子を買ってもらいました。実はそれが、最高の楽しみでした。昭和十四年から十五年頃の思い出だったと思います。



昭和54年12月「おえしき新聞」編集会議の各役員

本氏 山本氏 山口氏 藤氏  
小堀氏 加藤氏  
谷部氏 氏(飛び入り)  
長谷川氏 保母氏 石川氏  
谷村氏 保母氏 石川氏  
谷村氏 保母氏 石川氏  
谷村氏 保母氏 石川氏  
谷村氏 保母氏 石川氏  
谷村氏 保母氏 石川氏



武芳稲荷の秋

昭和三十七年に私定、お会式の歴史はもは、日本女子大学そばの目白通りの三又に小鳥店を開業し、町会集。その結果が「お会式新聞第一号」となり会にも出席し「みんな協力して、中断している鬼子母神のお会式を復活させよう」と提案したところ何人かの長老から「若いのに、何を今更、古風な」と一喝されてしまいました。後日、町会の若手、この町で生まれた人たちが十二名を中心に「この町の誇りであるお会式を盛り上げ、併せて地域の活性化を図ろう」という固い決意のもとに出来たのが「高田若陸」です。このことは即刻、法明寺の前住職やお寺の世話人の新倉さんにも連絡し、了解をいただきました。

それからは町内の空き地にテントを建て、みんなで太鼓の練習をはじめ、会の目的、予定を明らかにしました。昭和五十年九月九日、私たちの声掛けで鬼子母神界隈の十団体の代表者達が尾上ビルに集り、ここで正式に「鬼子母神お会式連合会」として発表会を行いました。第二回目からの会合は、その後、法明寺の会議室で開かれ、法明寺及び関係者、目白警察署、お会式連合会等の参加のもとに、お会式のコース、順路、時間、役割等を決め、ここで現在の形に近い十月十八日は池袋公園七時出発、明治通りと目白通りから鬼子母神のコース等が正式に決まりました。



鬼子母神堂



# 私たちは御会式連合会の活動を応援しています

威光山法明寺

花園中

江戸消防記念会  
第四区  
七番組

川口家

雑司が谷妙見講

武芳稲荷

雑司が谷  
盆踊り奉行会

雑司が谷すすき  
みみずく保存会

雑司が谷  
七福神の会